



イエスキリストの「わたしは…である (I am…)」とのことばを通して、イエスキリストとはどのような方であるのかを学んでいます。

イエスは「わたしはよみがえりです。いのちです」と語られました。このラザロの復活のできごとは、イエスキリストにつながる私たちに約束された永遠のいのちと復活を表すしるしとして行われたできごとでした。

① イエスキリストは、死の向こうにある復活を約束してくださる

“姉妹たちは、イエスのところに使いを送って言った。「主よ、ご覧ください。あなたが愛しておられる者が病気で。」これを聞いて、イエスは言われた。「この病気は死で終わるものではなく、神の栄光のためのものです。それによって神の子が栄光を受けることになります。」” 3-4

“そこで、イエスは弟子たちに、今度ははっきりと言われた。「ラザロは死にました。あなたがたのため、あなたがたが信じるためには、わたしがその場に居合わせなかったことを喜んでいきます。さあ、彼のところへ行きましょう。」” 14-15

② 私たちの「もし」と、イエスキリストの「もし」

“マルタはイエスに言った。「主よ。もしここにいてくださったなら、私の兄弟は死ななかつたでしょうに。…」” 21

“マリアはイエスがおられるところに来た。そしてイエスを見ると、足もとにひれ伏して言った。「主よ。もしここにいてくださったなら、私の兄弟は死ななかつたでしょうに。」” 32

“イエスが、「その石を取りのけなさい」と言われると、死んだラザロの姉妹マルタが、「主よ、もう臭います。四日もたっていますから」と言った。イエスは、「もし信じるなら、神の栄光を見ると、言ったではないか」と言われた。” 39-40、聖書協会共同訳

③ イエスキリストは、涙を流された

“イエスは、彼女が泣き、一緒に来たユダヤ人たちも泣いているのをご覧になった。そして、霊に憤りを覚え、心を騒がせて、「彼をどこに置きましたか」と言われた。…イエスは涙を流された。” 33

“イエスは彼女に言われた。「わたしはよみがえりです。いのちです。わたしを信じる者は死んでも生きるのです。また、生きていてわたしを信じる者はみな、永遠に決して死ぬことはありません。あなたは、このことを信じますか。」” 25-

<話し合ってみましょう>

- ・これまでの人生で、死ということの圧倒的な力を感じたことがありますか。
- ・死の後にも私たちにいのちが与えられていることは、自分の人生にどのような影響を与えますか。